

第 5 回 大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会 議事概要

開催日時	令和 4 年 5 月 12 日 (木) 18 時 00 分 ~ 20 時 00 分
開催場所	大阪狭山市役所 3 階 第一会議室
出席者	今西委員、地下委員、針田委員、荒木委員、藤井委員、山村委員、菊屋委員 酢谷委員、横山委員、中辻委員、中川委員、寺田委員、堀内委員
欠席者	西脇委員、鈴木委員、大西委員
事務局	教育部長、こども政策部長、教育監、こども政策部次長、教育部次長、学校教育 G 課長、保育・教育 G 課長補佐、教育総務 G 主査、教育総務 G 主任、(株) パスコ
傍聴者	4 名
案 件	<ol style="list-style-type: none"> 1 . 開会 2 . 第 1 回から第 4 回までの振り返りについて 3 . 今年度のスケジュール (案) について 4 . 小規模校及びこども園の現状と課題について 5 . 閉会
資 料	<p>資料 1 大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会委員名簿</p> <p>資料 2 大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会審議経過</p> <p>資料 3 大阪狭山市立幼稚園及び狭山中学校区の小中学校のあり方に関する意見書</p> <p>資料 4 学校園に関する方針策定に向けたスケジュール (案)</p> <p>資料 5 学校規模によるメリット・デメリット (例)</p> <p>資料 6 大阪狭山市立こども園の現状と課題について</p> <p>資料 7 令和 4 年 5 月 1 日時点児童・生徒数 (R4.5.12 時点)</p> <p>資料 8 市民アンケート質問項目 (案)</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
事務局	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日は、ご多忙のところ、また夜分にもかかわらず、ご出席いただきお礼を申し上げます。ただいまから第5回大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会を開催する。 ・本日は、委員総数 16 名中、13 名がご出席しており、2 分の 1 以上の出席をいただいていることから、大阪狭山市これからの学校園のあり方検討委員会設置規則第 6 条第 2 項の規定により、この委員会が成立していることをご報告申し上げます。 ・本日の傍聴者は 4 名である。 ・本日の会議については、コロナ禍ということもあり、90～120 分をめぐりにすべての議事が終了できるようご協力をお願いします。 ・配布資料確認。 ・本年度に入り初めての会議であり、委員の交代や事務局職員の異動もあったので、あらためて委員の皆さまと事務局に自己紹介をお願いします。お手元の委員名簿を参考までにご覧いただきたい。 ・委員会名簿順に各委員から自己紹介。 ・事務局及び教育委員会各所属職員より自己紹介。 ・以降の進行については委員長をお願いします。 <p>2 第 1 回から第 4 回までの振り返り</p> <p>3 今年度のスケジュール(案)について</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事に従って進行したい。 ・本日は、次第 4「小規模校及びこども園の現状と課題について」がメインテーマであり、これについて 1 時間半から 2 時間をめぐりに議論をしていきたいと考えている。 ・次第 2「第 1 回から第 4 回までの振り返りについて」と次第 3「今年度のスケジュール(案)について」、事務局より一括して説明をお願いします。
事務局 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料説明 ・事務局から振り返りについて報告があった。 ・本日は第 5 回目で、6 月から偶数月に会議が予定されている。 ・さらにスケジュール表で 7 月にアンケートという言葉が出てきている。これも含めて、ご意見をいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園のあり方については、半田幼稚園は第七小学校区、東幼稚園は東小学校区、東野は北小学校区という中で検討をしてきたわけだが、先日、新たにこども園を建設中という話を耳にした。こども園の位置づけは、今まで議論してきた幼稚園の考え方や、これからの進め方の中で、別問題と考えるのか。それともトータルで考えるのか。

委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園を建設中であるとのことだが、状況が理解できないので、どう いう過程でそうなったのか。そういう説明は事務局からもなかったので、 お願いしたい。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・この会議は学校園のあり方について議論する場であり、最終的には市役 所や教育委員会で考えていただくことになる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なところまで突っ込むものではないと理解しているが、今の質問 について事務局から意見はないか。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・保育ニーズが年々増えている中で、保育園と幼稚園の機能を併せ持った 「こども園」という新たなカテゴリー、区分が創設され、こども園の中 で教育部分と保育部分を自由に選択できる、柔軟な制度になっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・半田保育所については、待機児童の解消に向けて保育ニーズを充足する ために建設を進めているところである。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・本委員会では市内にある公立幼稚園 3 園と公立こども園 1 園について、 議論していただいていると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現状についての説明があったが、よろしいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針などは違うかもしれないが、一般から見たら、こども園も幼稚 園も同じような感じを受ける。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪狭山市にもこども園という名の幼稚園がたくさんあり、そこで育っ た子どもと普通の幼稚園の子どもは違うのかというと、そうではない。 ニーズに合ったところに親は子どもを預けている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう環境の中で、われわれが幼稚園のあり方について議論をする ときに、一方でこども園を建設予定であるが、説明もない。そういう情 報を委員に提供しないのか、しなくてもよいのか、疑問に感じる。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・保育ニーズの関係で、半田保育所を開設予定であり、また西山台に小規 模保育の事業所をこの 4 月に開設している。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・直接議論いただく議題ではないにしても、事務局から情報を提供しな かったことについて、お詫び申し上げます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール（案）を見ると 3 段になっていて、12 月に方針（案）を作 成し、パブリックコメントを経て方針を策定という流れだと理解して いる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・検討内容としては、基本的な考え方、適正規模、必要な対策、今後の進 め方の整理がこの会の役割だと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なところまで入り込むのはわれわれの役割ではないと思っている ので、それを理解して議論を進めていただけるとありがたい。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園については、市全体でどうなっているかを当然検討する必要が ある。別のところでは実際に建設の計画があるというのでは話が違う。 全体としてどうしたいのか、そういう情報がなければ議論できない。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう情報もいただいて議論を進めていきたいので、よろしく願い する。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール(案)では、あり方検討委員会の10回までに答申をとりまとめることになっている。 ・令和3年度は大規模校と幼稚園の検討で、今年度は小規模校(南第一小学校と南第三小学校)とこども園の検討となっている。点線の枠内に、「喫緊の課題を有する東小学校と北小学校について先行的に対策を実施」とあるが、これは増築の実施が決まったということか。 ・昨年度の意見書では、今年度に本格的に答申をとりまとめるということであったが、小規模の小学校や中学校も、すぐに取り組まなければならないのではないか。 ・狭山中学校の運動場の狭さについても触れていたが、教室数の課題は克服できそうなのか。3段目は教育委員会が検討する内容になっているが委員会の中では議論しなくてもよいのか。
委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会から説明をお願いします。 ・昨年度は狭山中校区と幼稚園の検討で意見書をいただいた。 ・今後は意見書に基づいて進めていくことになるが、大規模校について、例えばプレハブ校舎を増築することでその議論が終結したということではなく、第8回目くらいになると思うが、検討委員会で適正規模等の考え方を定義していくことになっている。 ・昨年度は大規模校について議論をいただき、今年度は小規模校について議論をいただき、総合的に学校の適正規模のあり方について答申をいただくというイメージで考えている。
委員長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の説明でよいか。 ・はい。
委員長	<p>4 小規模校及びこども園の現状と課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第4「小規模校及びこども園の現状と課題について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料説明
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・文科省の資料などを参考に、学校の小規模化についてメリット・デメリットの説明があった。 ・昨今では2017年に学習指導要領改訂があり、また、35人学級が本格的に導入されようとしている。一方でコロナ禍という問題も発生している。 ・そういった中でさらに、防災意識の変化、ICT化の問題、教員の働き方改革など、学校を取り巻く環境、学校を取り巻く状況は、著しく変化している。 ・こうした変化を受けて、説明のあったメリット・デメリット、大阪狭山市ならではの現状について、教育委員会から補足説明をいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・国の資料は平成27年と古いですが、大阪府の教育庁に確認したところ、それ以降、国が示している資料は特にない。 ・委員長からあったように、ICTの導入など、教育を取り巻く環境は変化

<p>委員長 事務局</p>	<p>しているが、国が示している手引の内容は、本市においても同様のメリット・デメリットがあると感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12学級以下ということで、手引でいう小規模校となる南第一小学校と南第三小学校は、例えば異学年交流というかたちで、お兄ちゃん学年、お姉ちゃん学年といわれているが、1年生と6年生の合同学習などでデメリットの部分を補足している。 ・大規模校、小規模校、どちらもメリット・デメリットはあるが、小規模校は適正規模の集団における教育活動を行ううえで支障になることが多い。また、人権教育の観点からも、多様な立場があり、違いを排除するのではなく認め合える集団づくりを行うためには、ある程度の規模の学級集団が必要と感じているので、小規模校の課題解決にあたるべきだと思っている。 ・学校を取り巻く最近の状況について補足説明を頂戴した。 ・続けて、こども園の現状と課題について事務局から説明をお願いします。 ・大阪狭山市立こども園の現状と課題について説明させていただく。 ・こども園については今年度、議論をしていただくにあたり、昨年度の第1回の会議の資料を改訂したもので「大阪狭山市立学校園の適正規模・適正配置に関する基本方針」策定指針から一部を抜粋し、令和4年度のデータを追加したうえで、あらためて現状と課題について説明を行うものである。 ・資料6にこども園の園児数の推移がある。平成29年度を除き、年々園児数が減少しており、定員の充足率は、令和4年4月1日現在で、保育利用は84.8%であるが、教育利用は41.3%で、入所児童数が大幅に定員を下回っている。 ・2ページは、第1回でお配りした資料の内容で、職員の配置状況である。認定こども園の園児の年齢別配置基準に基づく職員に加え、地域子育て支援担当、特別な支援を要する園児に対する支援員、預かり保育支援員のほか、朝夕の延長保育時間帯に対応する職員を配置しており、定員規模が同程度の市内の民間施設と比較し、15人程度、多くの職員が必要となっている。 ・施設については、こちらも第1回でお配りした資料の内容を改訂したもので、旧大阪狭山市立第2保育所をこども園の0～3歳児施設として、旧大阪狭山市立南第三幼稚園をこども園の4・5歳児施設として現在運営している。両施設とも耐震診断・改修は済んでいるが、築40年以上で施設の老朽化が進んでいる。 ・最後のページにこども園の両施設の位置関係を載せている。0～3歳児施設と4・5歳児施設の2施設に分かれているだけでなく、施設間が100mほど離れている。そのため、施設の老朽化に加え、連続した保育の提供、異年齢交流など、適切な施設運営が困難である。
--------------------	---

委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度いただいた幼稚園のあり方に対しての意見書にもあるとおり、大阪狭山市の就学前の子どもの豊かな育ちを保障する観点が最優先であり、こども園の今後を考えていくうえでも同様であると考えている。 ・今年度、議論される小規模校の方向性も踏まえて、こども園の今後の方向性についても議論をいただきたいと考えている。 ・今年度のスケジュール（案）として、まず小規模校とこども園について議論を行いたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議論を踏まえて、大阪狭山市の子どもたちにとって望ましい学校及びこども園のあり方について、課題解決の方策や、いくつかの選択肢を次回以降に検討していく。こういう流れで考えている。 ・意見をいただきたい。
委 員 事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校とこども園の現状について、教育委員会としてどのようにしようと思っておられるのか。 ・財政面もあり、最善の方法は、われわれ素人よりも教育委員会が一番わかっていると思うが、意見書を出しただけで何も解決していない。 ・敷地内に校舎を増築することが決まっているのであれば、委員会を開く必要はないが、敷地内に建てたら弊害が出るのかもしれない。 ・選択肢を示してもらえると議論がしやすい。東小学校の校舎の増築と同様に、小規模校についても方針が決まっているのではないか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模校について、35人学級への変更もあり、喫緊の対応については増築というかたちで教育委員会がハード整備を行う。これから予算をとって、喫緊の対応として教室不足の解消を図っていく。 ・小規模校についてはこれから議論をいただくが、現在、学校全体の3分の2が単学級になっている学校が2校ある。これが適正な状態であるのかどうか議論いただきたい。 ・この会の趣旨は適正規模・配置について、委員のご意見、議論を踏まえ、答申をまとめていただくことである。 ・議論いただいた中で、教育委員会としては、規模に対してどういう対応をしていくか、方針を策定することとなる。
委 員 事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、デメリットもかなり出ていることから、早急に解消しなければならない。 ・小規模校も大規模校もそれぞれメリット・デメリットがある。例えばデメリットを最小にして対応する自治体もあれば、メリットを最大化して小規模校であっても続けている自治体もある。 ・どの規模であれば最も有効なのか。一つの例にはなるが、現在でも3分の1は複数の学級があるので、2学年はクラス替えができる。ただ、今後、全学年クラス替えができなくなったときはどうするのか、そういう議論をしていただければと考えている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園が2施設に分かれているのは不自然。こども園本来のあり方と

	<p>して、一つの施設で0歳から5歳までが一緒に教育を受けるべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初は待機児童が多く、幼稚園を使えないかということで、工夫して保育人数に対応する形になったが、それから何年も経っている。 ・職員の人数が多い理由も、2施設に分かれているからで、子どもの安全面を考えると、一つの園よりも職員の数が必要なのは当然である。 ・こども園を一園にできるのか、その条件は私たちにはわからないので、行政で考えていただくとして、一園にするのが当然としか言えない。 ・南第三小学校、南第一小学校に通っている子どもや保護者の気持ち、家庭の問題もあるから軽々しく言えないが、感覚的には近距離に位置している気がするので、可能性として、各学年に複数クラスのある学校にしていくのがいいのではないか。 ・地域の方々、子どもたちの気持ちを無視するのではなくて、よりよい学校生活、育ちを保障する、そうとしか言えない。
<p>委員長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な意見を頂戴した。今のご意見についていかがか。 ・1回目にいただいた策定指針の6ページ、7ページにある令和12年までの児童生徒数の推計を見ると、狭山中学校や東小学校は、これから伸びていって、また下がっていく、そのため、ここ何年か、ピークを越さなければいけないから、プレハブの校舎を建てることでしのいでいくということであった。 ・一方で、南第一小学校は令和6年度までは下がっているが以降は伸びていく。一方、南第二小学校と南第三小学校は、直近はずっと伸びていくが、それ以降は下がっていく。その場合、この推計からすると、ここまで伸びるのかどうか。
<p>委員長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しは難しい。 ・こども園に学区はなく、全市から通うことができ、教育と保育の部分がある。今まで幼稚園しかなかったから幼稚園に集中していたが、最近では保育の方に集中して、こちらの部分が非常に大きくなってきている。 ・市もこども園をつくっているが、民間も同じようなことをしており、数字を見ても民間にどんどん流れて、公立は少なくなってきている。これは市全体で考えるとどうなるか。踏み込みが足りないのか。 ・昨年度の議論では、幼児教育の方向性、公立幼稚園の一園は、公立を志望する方もいるので何とか守りたいという意味が見えていた。こども園はどうするのか。私立があるからもういいという話も出てくる。
<p>委員 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの学校も築40年以上が経過して老朽化している。規模を変えなくても老朽化等への対応は必要となる。 ・建築年数でいけば南第一小学校が最も古く、南第一小学校ができて南第二小学校、南第三小学校ができた。こども園にしても、小学校ができてすぐに幼稚園ができた。統合する場合はどちらを優先するのか。 ・相当、古い、新しい、の差があるが、いいところ取りをしているような感

事務局	<p>じに受け取れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園と幼稚園の考え方として、基本的に、幼稚園もこども園も公立であることの重要性を認識しており、それぞれ公立として残したい。 ・施設が分かれていることについては、今までの経過上、現状は致し方なく分かれている。一つのこども園となると新たな場所が必要になる。難しい課題であるので、小学校も中学校も含めた全体的なあり方の中で解決の糸口がないか検討している。 ・老朽化については、耐震化と長寿命化で対応し寿命を延ばすというのが基本にはなるが、いずれ、そのままというわけにはいかなくなる。それも含めて今後どうしていくのがよいのか。委員会で意見を聞きながら進めていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・南第一小学校と南第三小学校の問題で、推計を見ると南第一小学校は令和12年に増えて南第三小学校は減っていくが、令和12年の数字を単純に足してみたら299と106で405人となる。 ・昨年1年間校長をしていたが、東小学校をどうにかしてほしい。コロナもあり、北小学校でクラスターが発生したが、北小学校も東小学校とよく似た規模の小学校である。 ・子どもたちも教員もクラスターを出してはいけない。ところが、東小の職員室は、校長室を潰して職員室にしようかと思うぐらい狭く、職員室の中で先生たちはまともに話し合いもできない。職員会議の際には別の場所に机を並べて行っている。 ・運動会も、そもそもコロナでなくても2回に分けて行わないと保護者が入らない。1年生から6年生までの運動会を分けてどうするのか。子どもたちも保護者も全員が入れる学校にしなければならない。 ・普通に考えると校区の編成しかないがなぜそれができないのか。南第一小学校と南第三小学校を統合すれば、こども園もゆったりつくれる。こんな簡単なことがなぜできないのか。南第一小学校と南第三小学校が離れていたら問題かもしれないが、近いから簡単にできるはず。 ・東小学校では、子どもたちが遊ぶ場所がない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・南第三小学校のエリアでいえば、学校を選択できるのが今熊3丁目。ほとんどは西小学校に行っている。昔からの経緯があってそうなっていると思うが、一部は南第三小学校に行っている。それだったら、そこは南第三小学校に行くということも考えられるのではないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今のご意見、答申として出していただくのがよいかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東小の悲惨な状況はよく知っているので、何とかできないかと思う。 ・今まで4回、狭山中学校区の北小学校・東小学校、狭山中学校の話をしてきたが、途切れて小規模に入っていくのはなぜか。本腰を入れて狭山中校区を改革していくと思っていたが、あり方委員会の議論は小規模校

<p>事務局</p>	<p>に移ってしまった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急的なところを先にすべきである。築年数で言えば狭山中学校は南第一小学校よりも古い。もっと考えなければいけないのに、なぜ予先が変わったのか。 ・東小学校については、子どもたちの学びに焦点を置きながら、事務局が示しているように、あれだけの人数が増えるのは間違いないので、今いる子どもたちのためにも、納得いかないかもしれないが、当座の解決のためにプレハブを建てるという方向でいかざるをえない。 ・建替えも視野に入れて考えていくという話をしていたと思うが、今いる子どもたちに建替えるからしばらく来なくてもよいとは言えないから、その方向でしのいでいくしかない。 ・これが狭山中学校と東小学校の考え方で、それぞれ意見を述べていただいてそういう方向になったが、校区の見直しも考えるべきとの意見もあったので、数年先を見据えて委員会として方向性を示していく必要がある。 ・小規模校である南第一小学校と南第三小学校に関しては、適正規模の基準に当てはめるのであれば統合が基本的な考え方になると思う。普通に考えるとそうなるが、これまでどういう経緯で教育を進めてきたか、それぞれの地域の特性もある。 ・それぞれの立場の方に意見を聞きながら、「子どもの学びを考えるのであれば、統廃合はやむなし、一定基準に収めるべきだ」との意見があれば、そういう方向で考える。 ・老朽化しても、子どもたちが交流しなくても、単学級でもやるべきという意見があれば、それを模索していくべきかもしれない。 ・事務局としては、国が示しているメリット・デメリットがあり、小規模校ではデメリットの方が多いので、適正規模という方向を検討している。 ・それに対して皆さんがどうお考えになるのか。意見を聞き、それが事務局の意見と合っていれば、その方向で進めていくし、違うのであれば違う方向に修正する。そのためのあり方検討委員会だと思っている。 ・こども園に対しても同じである。現状では二施設に離れているので、園長先生を探すのにあっちに行ったり、こっちに行ったりしていた。一園にすべきかを含め、こども園のあり方について議論していただきたい。 ・あるいは半田幼稚園の跡地はどうするか。大阪狭山市として幼稚園は残すべきとの意見もあったので、幼稚園として残すべきか、全部合わせてこども園にするか、議論いただきたい。 ・一定の考えは持っているが、皆さんがどう思っているかを知りたい。 <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回資料の策定指針の19ページに、小中学校等の方針策定にかかる検討内容を羅列しており、通学区域の再編も項目に入っているが、今は表に出てきていない。
------------	---

<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園の見直しでは多様なパターンを想定し、こども園の移転や他の公共施設との複合化も入っている。 ・小規模化と大規模化の問題でいうと、役所は一定の規模という見方をしているが、南第一小学校と南第三小学校は8学級と8学級であわせると16学級になるので、16学級が一定の規模ならば統合してもよい。 ・文科省のメリット・デメリットで、小規模に対するデメリットが多く、大規模はデメリットが少ない。ということは、子どものことを考えると単学級よりも複数学級の方がよいという結論に達する。 ・いろんな経緯はあるが、学校で学ぶ子どもたちのためにどの選択肢がよいのか。それを考えると、おのずと結論が出てくるのではないかと。
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かなり中身に入り込んできたが、もう少し深めたいと思うので、ご意見をいただきたい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪の生野区で義務教育学校が開校されたというニュースがあった。そういう制度も考えていけば、もっと子どもたちに対してやさしい教育ができるのではないかと。 ・例えば、北小学校は広いので、そこに中学校を入れることで狭山中の人数の解消にならないか。小中一貫校などの教育制度を考えてみるのもよいと思う。
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校は、小学校6年間と中学校3年間を一貫して一つの学校にするもので、和泉市にもある。 ・答申を出すにあたっては、義務教育学校も考えられる選択肢として意見をいただきたい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園は過密で、多くの子どもたちがいる状態で空き部屋もない。 ・年齢別保育も3歳児27名、4歳児26名、5歳児29名。5時半でもお迎えがなく、預かり保育を行っているので1号認定の子どもたちが残ることになる。 ・おやつ時はひとつの部屋に集う人数が増える。コロナの影響で、一クラスでおやつを食べてもよいのかということもあるが、一緒に食べているのが現状。 ・二つに施設が分かれているのは、子どもにとっても職員にとってもよい環境ではないことは間違いないので、一つになってほしい。 ・通常、園児募集については、夏頃から保育の公開を行い、9月頃から応募するが、このスケジュールでいくと今年度はどうなるのかと思った。 ・保護者の方々からも、来年度の募集はあるのかと聞かれる。東野幼稚園は維持されないのではないかとこのうわさもあり、不安を抱えている保護者がとても多い。 ・半田幼稚園も含めて、はっきりしてもらいたい。保護者の方に納得いただけるように話をしなければと思っている。今年度のスケジュールでは募集してもよいように思うが、はっきりお答えいただけないか。

委員 長	・現場からの切実な意見だと思うので、事務局、いかがか。
事 務 局	・幼稚園の適正規模・適正配置については令和3年度に意見書をいただいたところであり、具体的には令和4年度に検討という話になっているので、今年度いきなり募集停止はないと認識している。
委 員	・策定指針に解決策として、幼稚園の統廃合、こども園の移転及び増改築の検討、他の公共施設との複合化がある。これらの選択肢を委員会で検討するのか。 ・検討した結果どうするのか。老朽化や距離が離れているという議論になっていて、そうではないところが議論されていない。
委員 長	・できる範囲内で書いてもらうことが可能か、教育委員会にお尋ねしたいが、難しい問題である。検討内容が独り歩きして、市民の皆さんに混乱が起きても困る。
事 務 局	・われわれとしてはそれを恐れている。教育委員会がお示しすると決定事項のように流れてしまう場合があるので、十分に配慮したい。 ・ただ、内容については具体策がなければわかりにくいというのはご指摘のとおりだと思うので、コンサルとも打ち合わせを行い、何をお示しさせていただければよいのか考えたい。 ・適正規模をしっかりと決めていきたいと思っている。そのうえで具体策、どうしていけばよいのか。それも踏まえてしっかりと考えていきたいと思っているので、よろしく願います。
委員 長	・適正規模を重点的にということ。
委 員	・以前の会議の資料では、南第一小学校の児童数の推移を令和12年まで推計しているが、ずっと下がってグッと伸びている。どういう指標を使ったのか。
事 務 局	・人口推計については、これまでの委員会の中で、第1回にお示しした資料と第3回にカラーの資料をお配りしている。 ・第3回にお配りしたのは平成27年の指標で、その前の国勢調査ベースの数字を使っていたが、できるだけ新しい指標を使って人口推計は見直しを行っている。
委 員	・検討していないのではないかと言われないようにしておかなければならないという思いである。
委 員	・資料6に令和4年度の教育利用の充足率がある。大阪狭山市立こども園の現状と課題について、4年度の園児数は教育利用が31、保育利用は128で合計159、教育利用の充足率は41.3%と低い。 ・素人考えだが、民間の幼稚園はきれいで新しい施設だからではないか。だから充足率が低いのではないか。 ・また、こども園は一つの施設がよいと思う。例えば小学校は南第一小学校に統合して、こども園を一緒にしたものを南第三小学校の敷地内につ

	<p>くってはどうか。こども園は車での送迎が必要になってくるが、現状では車での送迎はできていないので、不便ということもあるのではないかと。南第三小学校の廃止には賛否両論あると思うが、素朴な案として、一つ考えられないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪狭山市の幼稚園を考えると、もともとは各校区に一つ、歩いて通える幼稚園という考え方があったが、そうはいかないということで、全体の流れとしては昨年度、公立こども園が一園、公立幼稚園が一園で収まったと思っている。私自身はそれに対して疑問はあるが、そういう流れで考えようとなったのではないのか。解決方法が3つあるということになると、また話が戻ってしまう。それはそれで、議論が深まるからよいのかもしれないが、疑問がある。 ・例えば東小学校の運動場の狭さを解消するために、東幼稚園の敷地のことが頭の隅にあるのかどうか。素人が考えると、隣の敷地を使うのはやりやすいが、東幼稚園に通う子どもたちはどうなるのか。バラバラに考えざるを得ないが、バラバラに考えると難しい。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見で具体的でもあるが、今の貴重なご意見を生かすためにも、あり方としてどう進めればよやかに戻って提案できればと思っている。 ・今の意見に対して教育委員会から意見はあるか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・策定指針の26ページに手法の一覧を載せている。「公立幼稚園一園・こども園一園」と言われたが、手法の一覧は、一般的に考えられるすべてのことを整理して掲載しているものであり、全部を網羅した形で書いている。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園を一園にするにあたり、移転して新しい場所に新設するのか。既存の校舎を使って改築するのか。他の公共施設と複合化するのか。こういう手法が考えられるということで載せている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そのために教育環境をどう改善していくか。それがこの会のテーマだと思う。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年、東小学校と狭山中学校の件については、緊急性を要することからまずは2校について議論し、後は時間もあるからじっくりといこうと理解したが、それでよかったか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・私も同様の認識であるが、それでよいか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・おっしゃるとおりである。 ・さきほど、令和5年度の東野幼稚園と半田幼稚園の募集はありとお伺いしたのでほっとしたが、対象の保護者の方は不安に思っている。 ・募集があることを市民に知らせていただけないか。保護者の中には、半田幼稚園が再編の対象になるかもしれないということで、わざわざ半田幼稚園と東幼稚園のそれぞれの未就園の活動にも参加している保護者もいる。不安になられている方が多いと思うので、皆さんに知らせていただきたい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような形でお知らせできるか、検討させていただく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私自身も、長女は同学年9人で始まって、入園するまですごく不安で、入ってすぐなくなったらどうしよう、入る寸前で他の幼稚園を探せとなったらどうしよう、と不安に思っていたので、早めをお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な案ではなくて、どういう方法、小規模のデメリットをどう考えるか、意見を言わせていただく中で、ここはこうしていけばという全体像が出てくると思ったらよいのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南第一小学校と南第三小学校には、教頭として行かせていただいたが、その後、南第一小学校では急激に人数が減り、3分の2は単学級という状況になっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推移を読むのは難しいが、増えたとしてもギリギリ2クラスで、3クラスになることはほぼないのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ デメリットについて細かく考えたが、文科省が出しているメリット・デメリットにほとんど出ている。職員一人当たりの校務分掌の多さをすごく感じた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担任の先生以外に専科の先生、音楽の先生もいるが、音楽だけでは成立しない。ほかの教科、音楽や家庭科、書写という形で、教材研究も1回のみ、その授業のためにしなければならない。教材研究で、授業数は変わらないが、毎回、授業内容が更新される。教諭として働いていた経験があるのでその苦労を実感している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの人間関係の固定化もすごく感じた。1回トラブルになったら年度で心機一転ができない。それをフォローしていく先生たちの技量も必要と感じた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ デメリットはすごく感じる。もちろん小規模ならではの良さ、きめ細やかさやアットホームな感じはよいと思うが、子どもたちが通学できる距離に小規模校が2校あるなら、統廃合も可能性としてはある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方の思いもあるので、それに対して賛成・反対ということではないが、近くに小規模校が2校あるのは、ずっと気になっていた。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の先生方から自由な意見をいただきたいということで、多くの意見をいただいた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模校の問題は、メリット・デメリットの両方があり、難しい問題もあるが、改善の方向でこの委員会を開いている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育環境の確保、教育水準の維持・向上といった大きな課題がある。これらを十分に果たしながら、どういう学校がよいのかについて、残り5回あるので、皆さんと一緒に検討していきたいと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模校についての考え方についてのまとめはあらためて事務局にお伺いするので、願います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の皆さまには多くの意見をいただいた。今年度は答申ということで、昨年度の大規模校と幼稚園を含めた議論に加え、今年度は適正規模に関

委員 長	<p>して整理を行っていくことになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日いただいた意見を次回の委員会までに事務局で集約し、人口推計など、今後の見通しをしていく中で大事な要素と考えているので、見直した数字をご提示するとともに、資料も含めて整理を行い、次回の会議までに提示させていただきたい。そのうえで議論を深めていただければと考えている。 ・大変な作業となるがよろしく願います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市長を筆頭に狭山ニュータウンを再生する会議があり、住みやすい、子育てがしやすいまちづくりということで、子育て世代の流入に力を入れている。それに成功したら悩みが消えるのかもしれないが、統合した後に子どもの数が増えると東小学校のようになってしまわないか。
委員 長	<ul style="list-style-type: none"> ・それも含めて事務局でご検討いただいて、次回以降に出していただければと思っている。 ・本日は、小規模校とこども園の実態について話し合っただく第1回目で、皆さん方から多くの意見をいただいた。事務局の方でまとめていただくので、次回よろしく願いたい。 ・その他、事務局からあるか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールで、第6回と第7回の間アンケートを実施し、基本方針策定の参考として当事者の意見を聞くことが必要と考えている。議会、教育委員からも当事者の意見を聞いてほしいという声をいただいているところでもある。 ・事務局としては、学校現場に最も近い教職員、保護者、児童・生徒を対象にアンケート調査を実施したいと考えている。 ・市民アンケートについては、現在、全庁的に公共施設の適正管理について検討を進めており、そちらで実施するアンケートに学校園に関する項目を加えるという手法で実施できればと考えている。 ・本日お配りしているのは市民アンケートの質問内容の案である。アンケート全体のボリュームの関係もあり、学校園に関して多くの質問項目を設けるのは難しいことから、総論的な内容としている。 ・実施時期との関係もあり、短期間でのお願いで申し訳ないが、質問項目についてご意見があれば、来週はじめをめどにいただきたい。 ・当事者へのアンケートについては、例えば他市の事例では、各小中学校の校長、教頭、各学年のクラス担任の教職員、各小学校6年生一クラスの児童とその保護者、各中学校の3年生一クラスの生徒とその保護者、これらを対象として実施している事例もある。 ・こちらについては、市民アンケートとは異なり、教育委員会で実施することになるので、スケジュール(案)に書いているとおり、1学期中に配布・回収という形で考えている。 ・質問内容や対象者の範囲については、事務局で作成した案を、次回の委

委員	<p>員会までにお示しして意見を頂戴できればと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果については、8月頃に予定している検討委員会の場でお示しし、基本方針策定のための参考にしていただければと考えている。 ・アンケートはこの1枚だけなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・これは学校園の部分だけを抜粋したもので、全庁的に行う公共施設再編のためのアンケート調査を実施する中にこれを加えていただく。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者に対するアンケートの中身は、事務局で案を作成していただいて、後日メールで先生方にご連絡があるかと思うので、よろしく願います。 ・本日いただいた意見を参考に、小規模校及びこども園に関する方策について事務局で案を練っていただき、それを次の会議でお示ししてご意見をいただくのでご了承願いたい。 ・それでは、本日の議題はこれで終了となるので、進行を事務局にお返しする。
事務局	<p>5 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間にわたりご審議いただき感謝申し上げます。 ・次回の委員会は6月下旬を予定している。開催日時についてはあらためてご連絡させていただくので、よろしく願います。 ・それでは、本日はこれをもって散会とする。